

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 DRY-FH200	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日から1年
お客様 お名前	様
ご住所	〒 TEL ()
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

カメラ一体型ドライブレコーダー

DRY-FH200

取扱説明書

12V車専用

このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、付属品のmicroSDカードに最大約70分の動画を連続保存します。



目次

はじめに	2	設定を変更する	22
安全上のご注意	2	静止画記録モード	26
使用上のご注意	7	静止画を記録する	26
本書をお読みいただくにあたって	9	再生モード	30
各部の名称と働き	10	記録ファイルを再生する	28
取り付けかた	12	設定を変更する	30
microSD カードの装着 / 取り外し	14	その他	33
電源について	15	故障かな?と思ったら	33
充電について	17	仕様	34
パソコン接続について	18	アフターサービスについて	35
動画記録モード	20	保証書	裏表紙
映像を記録する	20		

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがある等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オープンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

注意

気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

絵表示について

この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

この記号は、関連するページを示します。

落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

警告

取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

手動記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

注意

カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などでふくとキズの原因となります。

警告

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

注意

取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。

運転中に画面等を注視しないでください。前方不注意による事故の原因となります。

! 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

⊘ 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

● 電源コードについて

⚠ 警告

! 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

! 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

! お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。

⊘ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

! シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

⊘ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

! シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。

⚠ 注意

! エンジンも止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

⊘ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。

● microSDカードについて

⚠ 警告

! microSDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。

! microSDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● タッチパネルについて

⚠ 警告

⊘ 画面を強く押ししたり、先の鋭いもので押さないでください。タッチパネルが割れて、けがの原因となります。

● 内蔵リチウムイオン電池について

⚠ 危険

⊘ リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ リチウムイオン電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ 火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。

⊘ リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠ 警告

! 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

! リチウムイオン電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

⚠ 注意

❗ リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。充電：0℃～+45℃
リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

❗ リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

❗ お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでください。お買い上げの販売店にご持参ください。

❗ リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。

❌ 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。

❌ 濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。感電の原因となることがあります。

❌ 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

❌ 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。液漏れ、発熱、発煙の原因になる恐れがあります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外觀、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に録画ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ録画をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

■ 取り付けに関する注意

- ・ 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・ 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・ シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 液晶パネル部に関する注意

- ・ 表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■ microSD カードに関する注意

- ・microSDカードリーダーライターは、使用のmicroSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないmicroSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・microSDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
本機の動作中にmicroSDカードの取り出しや挿入を行うと、microSDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・microSDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やmicroSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- ・重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・microSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

■ 内蔵リチウムイオン電池に関する注意

- ・リチウムイオン電池には寿命があります。
- ・充電しても使用時間が短くなった場合は、販売店に内蔵電池（充電式リチウムイオン電池）の交換（修理対応）をご依頼ください。
- ・安全のため、高温時や低温時は充電ができません。充電可能な温度範囲は、0～+45℃になります。

不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>



リチウムイオン電池はリサイクルへ

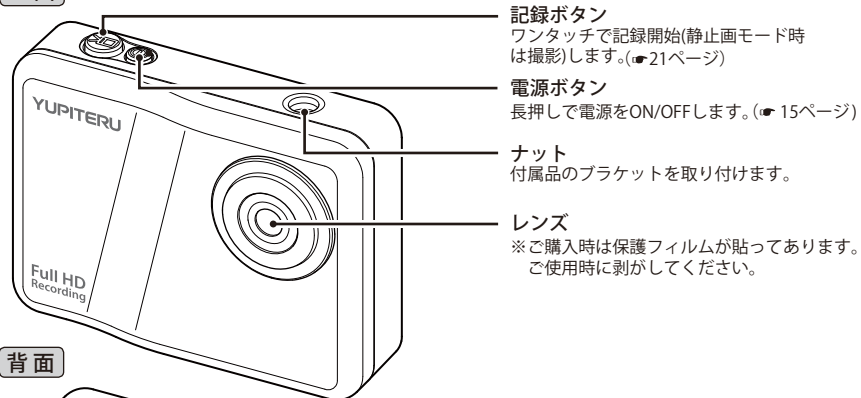
- はじめに** P. 2 「安全上のご注意」や「同梱物の確認」、「充電方法」など、まずお読みいただきたい内容が記載されています。
- 動画記録モード** P. 20 動画記録モードの使いかたを説明しています。
- 静止画記録モード** P. 26 静止画記録モードの使いかたを説明しています。
- 再生モード** P. 28 再生モードの使いかたを説明しています。
- その他** P. 33 「故障かな？と思ったら」が記載されています。仕様などはこちらをご覧ください。

実際にご利用いただく流れに沿って内容を構成しています。

はじめに

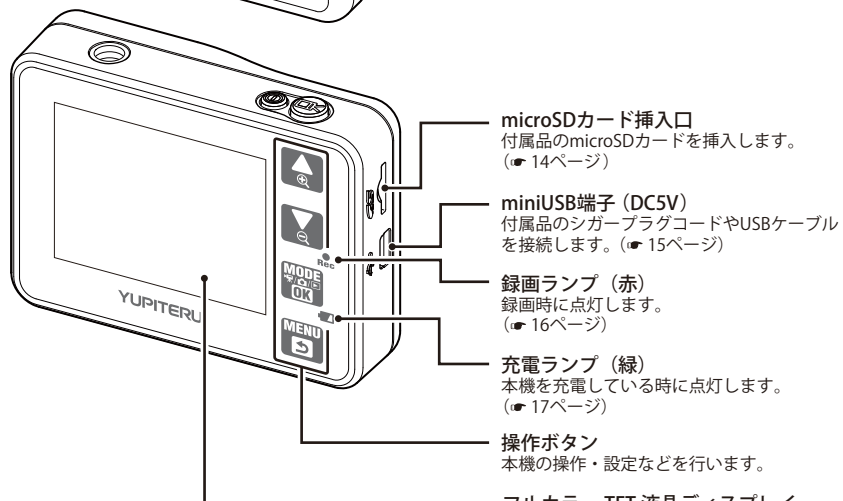
各部の名称と働き

正面



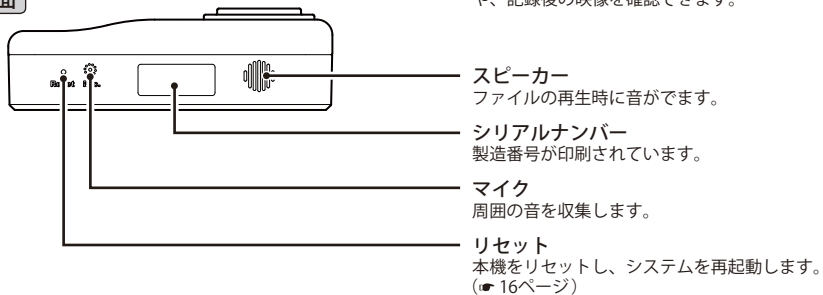
- 記録ボタン**
ワンタッチで記録開始(静止画モード時は撮影)します。(☛ 21ページ)
- 電源ボタン**
長押しで電源をON/OFFします。(☛ 15ページ)
- ナット**
付属品のブラケットを取り付けます。
- レンズ**
※ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。
ご使用時に剥がしてください。

背面



- microSDカード挿入口**
付属品のmicroSDカードを挿入します。
(☛ 14ページ)
- miniUSB端子 (DC5V)**
付属品のシガープラグコードやUSBケーブルを接続します。(☛ 15ページ)
- 録画ランプ (赤)**
録画時に点灯します。
(☛ 16ページ)
- 充電ランプ (緑)**
本機を充電している時に点灯します。
(☛ 17ページ)
- 操作ボタン**
本機の操作・設定などを行います。

底面

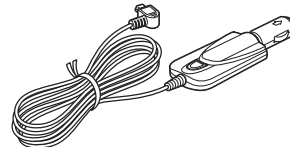


- スピーカー**
ファイルの再生時に音がでます。
- シリアルナンバー**
製造番号が印刷されています。
- マイク**
周囲の音を収集します。
- リセット**
本機をリセットし、システムを再起動します。
(☛ 16ページ)

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- シガープラグコード(約 4m) …1

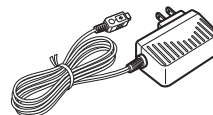


- ブラケット ……………1
- microSD カード(4GB) ……………1
- USB ケーブル(約 1m) ……………1
- 両面テープ ……………1
- 取扱説明書・保証書(本書) ……1

※ 紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

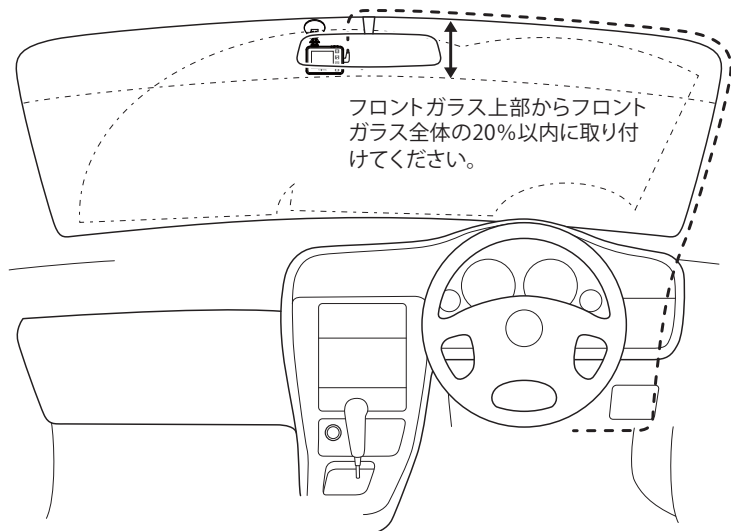
別売品

- ACアダプター OP-E368
3,150円(税込)
ご家庭で使用することができます。



取り付けの注意

- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントウィンドウ淵の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。

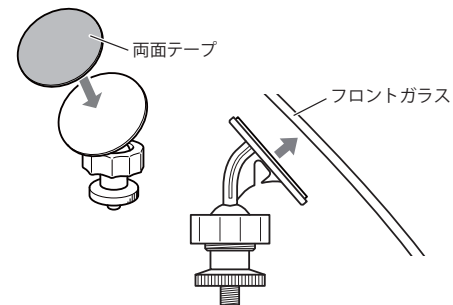


取り付け・取り外し方法

1 ブラケットに付属品の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける

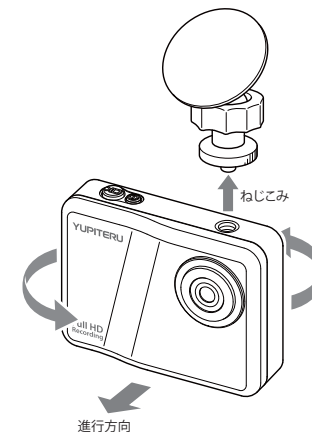
- ・あらかじめブラケットや、フロントガラスの汚れや脂分をよく落としたあと慎重に取り付けてください。

- ※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。
- ※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。



2 矢印の方向に回して、本体をブラケットに装着する

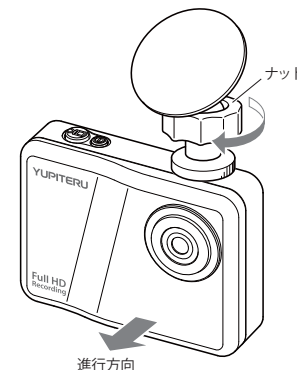
- ※ ブラケットは、ねじ込み過ぎないように注意してください。



3 レンズを進行方向の撮影したい角度に向け、ナットを締めて固定する

- ※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

- ※ ナットを斜めに締めると取り外しが出来なくなる場合があります。締める際は注意してください。



- ・取り外しは、逆の手順で行います。

- ※ ナットを緩める際に、ナットが固い場合は、先に本体を取り外してから、ナットを上部に押しあてて緩めると、軽く緩めることができます。

microSD カードの装着 / 取り外し

※ 本機と付属品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※ 本機は、2GB 以上の microSD カードまたは、32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。
(SD スピードクラス「Class6」以上)

注意

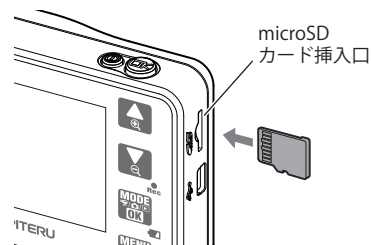
- 電源を OFF にしてから行ってください。
- microSD カードは一方方向にしか入りません。micro SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- microSD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1 電源を OFF にして、microSD カード挿入口に microSD カードを『カチッ』と音がするまで押し込む

右図の向きに合わせて入れてください。

- microSD カードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

※ microSD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。



2 本機でフォーマットする (☞ 30、32 ページ)

電源について

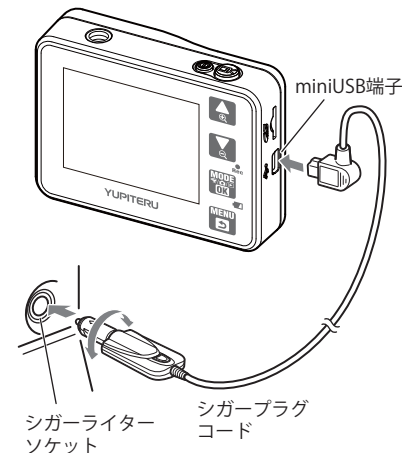
つづく

接続方法

付属品のシガープラグコードを接続する。

付属品のシガープラグコードを本機の miniUSB 端子と車両のシガーライターソケットに差し込む

- 車両で使用する際は、付属品のシガープラグコードをご使用ください。



ヒューズの交換

接続状態でエンジンをかけても電源が ON にならない (ランプが点灯しない) 場合は、シガープラグコードが奥まで差し込まれていることと、シガープラグ内のヒューズ (2A) が切れていないことを確認してください。図のようにシガープラグの先端を矢印の方向に回し、元に戻すときは、逆方向に回してください。

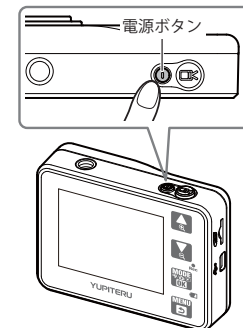


内蔵電池のみで使用する

電源ボタンを 2 秒以上長押しする

電源が ON になります。

- 電源が ON にならないときは充電してください。
- 内蔵電池のみで使用時は、充電ランプは点灯しません。



手動で電源を OFF にする

電源ボタンを 2 秒以上長押しする

録画ファイルを保存して、電源が OFF になります。

電源について

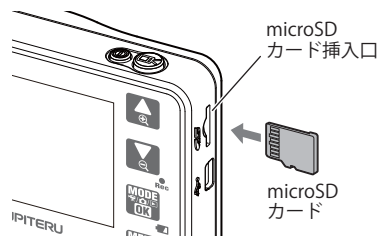
録画の開始

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

- 1 本機でフォーマットされた、付属品の microSD カードが挿入されていることを確認する

付属品の microSD カードが挿入されていないときは、電源が OFF であることを確認して、付属品の microSD カードを挿入してください。

- ※ microSD カードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、microSD カードや本機の故障の原因となります。
- ※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは microSD カードにデータの書き込みが行われています。microSD カードの抜き差しは、電源が OFF の状態で行ってください。



- 2 車両のエンジンを始動する

本機に電源が供給されると録画ランプ(赤)が点灯し、動画の記録が開始されます。

- ※ 内蔵電池使用などで自動的に録画が開始されない場合は、動画記録モードになっていることを確認して、記録ボタンを押してください。(● 21 ページ)
- ※ 充電可能な場合は、充電ランプも点灯します。
- ※ 初めて使用する場合は、システム設定で日/時刻を設定してください。(● 24 ページ)



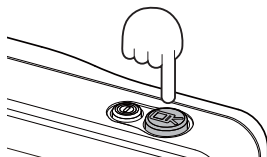
録画の停止

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

- 1 車両のエンジンを切る

約 20 秒後、電源が OFF になります。

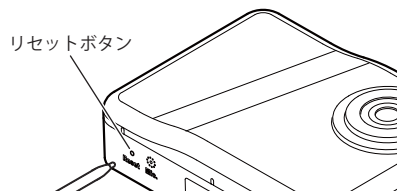
- ・ 手で録画を停止したい場合は、録画中に記録ボタンを押します。



リセットボタンについて

動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、先の尖ったもので、リセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

- ・ リセットボタンを押した後は、電源が OFF になります。
- ・ リセットボタンを押しても microSD カードに記録したデータは消えません。



充電について

内蔵電池を充電する

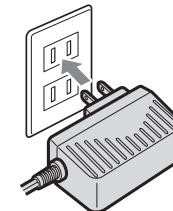
充電温度範囲 0 ~ +45°C 過充電防止回路付

- 車両からの充電は、付属品のシガープラグコードを本体の miniUSB 端子と車両のシガーライターソケットに差し込み、電源が供給されると充電が行われます。

約 2.5 時間で満充電になります。

- ※ 充電可能温度範囲は、0 ~ +45°C です。安全のため、高温時や低温時は充電ができません。その場合は、パソコンまたは別売品の AC アダプター(OP-E368)を使用し、室内での充電をお勧めいたします。

- 別売品の AC アダプター(OP-E368)を使用し、の充電は、約 2.5 時間で満充電になります。



- パソコンからの充電は、約 2.5 時間で満充電になります。

パソコンの電源を入れ、付属品の USB ケーブルで本機とパソコンを接続してください。約 2.5 時間で満充電になります。

- ※ パソコンでの充電中は、本機を操作することはできません。

- ※ パソコン本体の USB 端子に直接接続してください。USB のハブなどを經由して接続すると、容量不足で充電できないことがあります。

- ・ 充電可能な場合は、充電ランプを点灯します。
- ・ 満充電になると、充電ランプを消灯します。



電池残量アイコンについて

内蔵電池で使用しているときは、画面右下に次のように電池の状態を表示します。

状態	電池残量多い	電池残量少ない
アイコン		

満充電の状態で最長約1時間使用できます。

※設定や動作条件によって短くなる場合があります。

内蔵電池には寿命があります。充電しても使用可能時間が短くなった場合は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

パソコン接続について

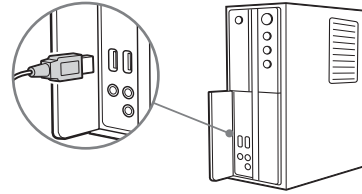
本機で録画した映像は、以下の仕様を満たしたパソコンで見ることができます。

- ・Microsoft Windows 7(32/64bit)
- ・デュアルコア、2.0GHz以上のCPU
- ・2GB、DDR2以上のメモリー

本機をパソコンと接続する

1 パソコンの電源を入れ、付属品のUSBケーブルで本機とパソコンを接続する

※本機は、電源OFFの状態でご接続ください。
 ※パソコンへ接続しているときは、本機を操作することはできません。



2 ドライバーがインストールされ、リムーバブルディスクとして認識される



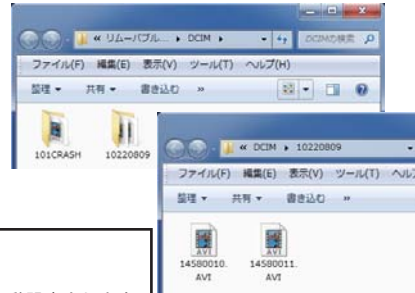
3 リムーバブルディスクを開き、[DCIM]フォルダを開く



4 目的の日付のフォルダを開き、録画ファイルをダブルクリックする

Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

上書き禁止されたファイルは、フォルダ名にCRASHと付いたフォルダ内に保存されています。(☛ 21ページ)



ファイル名について

記録した時間、ファイル番号がファイル名となります。

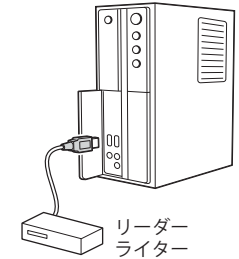
※ファイル番号は(0001~9999)範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

11 04 0001 . AVI — 動画(静止画の場合は「JPG」となります)
 時 分 ———— ファイル番号

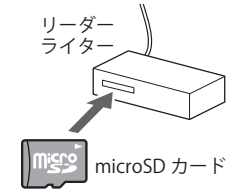
microSDカードを直接パソコンと接続する

1 リーダーライターをパソコンに接続する

※microSDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。



2 付属品のmicroSDカードをリーダーライターに接続する



3 microSDカードを開き、[DCIM]フォルダを開く



4 目的の日付のフォルダを開き、録画ファイルをダブルクリックする

Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

上書き禁止されたファイルは、フォルダ名にCRASHと付いたフォルダ内に保存されています。(☛ 21ページ)



フォルダ名について

フォルダ番号、記録した日付がフォルダ名となります。
 ※フォルダ番号は(100~999)範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

100 2 10 25 日
 月
 年の末字 2012
 フォルダ番号

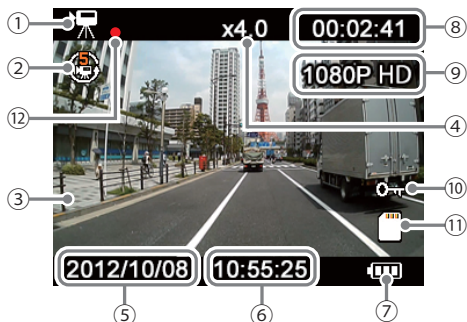
上書き禁止されたファイルは、フォルダ番号の後に「CRASH」と付きます。
 ※フォルダ番号は(101~999)範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

101 CRASH
 フォルダ番号

映像を記録する

動画記録モード画面

動画記録モードでは、ビデオカメラのように連続して動画を記録します。



No.	表示名	説明
①	モードアイコン	動画記録モードアイコンを表示します。
②	ファイル分割時間	録画ファイル構成で設定した長さを表示します。(☞ 22 ページ)
③	ファインダー	カメラのファインダーです。
④	ズーム倍率	ズーム倍率(x1.1 ~ x4.0)を表示します。
⑤	日付	現在の日付を表示します。
⑥	時刻	現在時刻を表示します。
⑦	内蔵電池アイコン	内蔵電池の残量を表示します。(☞ 17 ページ)
⑧	記録時間 / 記録可能時間	記録時には現在の映像の記録時間を、記録停止時には現在の設定での記録可能時間を表示します。
⑨	解像度	記録解像度を表示します。(☞ 22 ページ)
⑩	ファイルプロテクトアイコン	上書き禁止に設定すると表示します。(☞ 21 ページ)
⑪	microSD アイコン	microSD カードが挿入されていることを表示します。
⑫	記録マーク	動画記録中に点滅表示されます。

動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
	1 倍～ 4 倍までズームインします。
	4 倍～ 1 倍までズームアウトします。
	動画記録停止中は、モードを変更します。 動画記録中は、画面を消します。
	動画記録停止中は、動画記録モード設定メニューへ(☞ 22 ページ) 動画記録中に押すと、記録中のファイルを上書き禁止に設定します。(☞ 21、28、30 ページ)

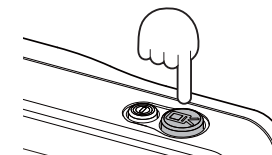
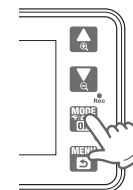
映像を記録する

1 本機の電源が ON になっていることを確認する

2 ボタンを押して、動画記録モードにモード変更する

※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

3 記録ボタンを押して、動画記録を開始する



記録中の映像を上書き禁止に設定する

本機は、付属品の microSD カード (4GB) で最大約 70 分映像を記録できますが、microSD カードがいっぱいになると古いファイルから上書きして消去していきます。消去したくないファイルは、記録中に上書き禁止に設定する必要があります。

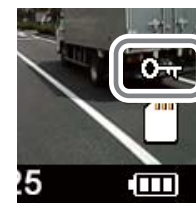
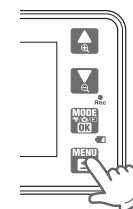
1 撮影中に ボタンを押して、上書き禁止ファイルに設定する

画面にファイルプロテクトアイコンが表示され、記録中のファイルが上書き禁止に設定されたことがわかります。(☞ 20 ページ)

※ 上書き禁止は、[録画ファイル構成] (☞ 22 ページ) で設定したファイル単位で、上書き禁止になります。5 分単位で録画した時は、プロテクトキーを押した時の 5 分間のファイルのみが上書き禁止されます。

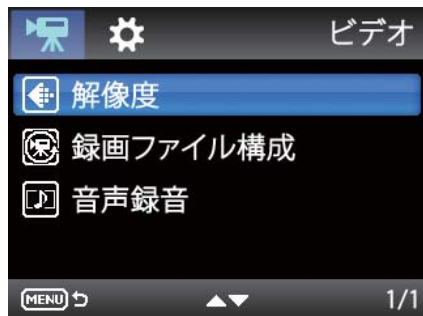
※ 上書き禁止されたファイルは、フォルダ名に CRASH と付いたフォルダ内に保存されます。(☞ 18 ページ)

※ [録画ファイル構成] の設定が [オフ] の場合は、上書き保存されません。(☞ 22 ページ) microSD カード内の記録映像を、バックアップなどしてから削除し、再度記録を開始してください。



動画記録モードの設定メニュー

動画記録モードの設定を、確認または変更します。



項目	設定	説明
解像度	1080P HD	動画記録の解像度を選択します。
	1080P	
	720P(★)	
録画ファイル構成	オフ※	動画記録を設定した長さで分割保存します。 [オフ]は最大25分単位で録画ファイルを構成します。 ※設定が[オフ]の場合、記録映像の上書き保存はしません。microSDカード内の記録映像を、バックアップなどしてから削除し、再度記録を開始してください。その他の設定の場合は、古いファイル(1ファイル単位)を消去して新しいファイルを保存します。
	5分単位(★)	
	10分単位	
	15分単位	
音声録音	オフ	映像と同時に、音声も記録するか設定します。
	オン(★)	

★は初期設定値です。

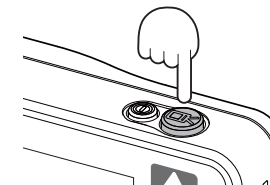
設定操作時のボタンの機能

ボタン	機能
	設定項目を選択したり、値を増加します。
	設定項目を選択したり、値を減少します。
	選択項目を決定します。
	モード画面へ戻ります。

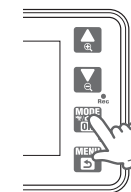
設定メニューへの変更

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、記録ボタンを押して、動画記録を停止する

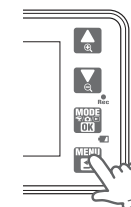
※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。



- 2 ボタンを押して、動画記録モードを選択する



- 3 ボタンを押して、動画記録モードの設定メニューを表示する



設定を変更する

システム設定

本機の基本設定を、確認または変更します。

※ システム設定メニューは動画記録モード、再生モードのどちらからでも表示させることができます。



項目	設定	説明
日/時刻	—	日付、時刻を設定します。
操作音	オフ	操作音のオン/オフを設定します。
	オン(★)	
フリッカレス機能	50Hz	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz 西日本：60Hz 記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。
	60Hz(★)	
デフォルト設定	キャンセル	設定を初期設定値(★)に戻します。
	確認	
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

★は初期設定値です。

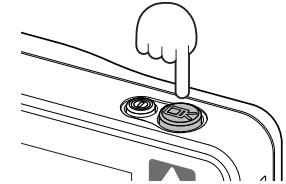
設定操作時のボタンの機能

ボタン	機能
	設定項目を選択したり、値を増加します。
	設定項目を選択したり、値を減少します。
	選択項目を決定します。
	モード画面へ戻ります。

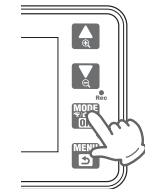
システム設定メニューへの変更

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、記録ボタンを押して、動画記録を停止する

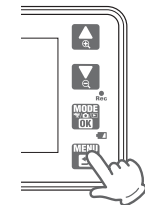
※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。



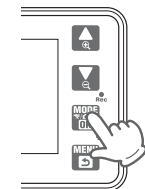
- 2 ボタンを押して、動画記録モードを選択する



- 3 ボタンを押して、動画記録モードの設定メニューを表示する



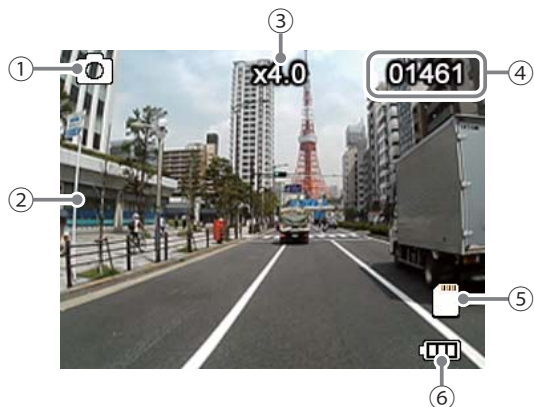
- 4 もう一度 ボタンを押すと、システム設定メニューを表示します。



静止画を記録する

静止画記録モード画面

静止画記録モードにすると、デジタルカメラのように静止画を撮影できます。



No.	表示名	説明
①	モードアイコン	静止画記録モードアイコンを表示します。
②	ファインダー	カメラのファインダーです。
③	ズーム倍率	ズーム倍率を表示します。(x1.1 から x4.0 のズーム時)
④	撮影可能枚数	残りの microSD カード容量で撮影可能な静止画枚数を表示します。
⑤	microSD アイコン	microSD カードが挿入されていることを表示します。
⑥	内蔵電池アイコン	内蔵電池の残量を表示します。(☛ 17 ページ)

静止画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
	1 倍～ 4 倍までズームインします。
	4 倍～ 1 倍までズームアウトします。
	モード変更
	なし

静止画を記録する

静止画記録モードにすると、デジタルカメラのように静止画を撮影できます。

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、記録ボタンを押して、動画記録を停止する

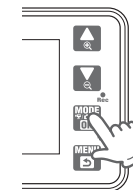
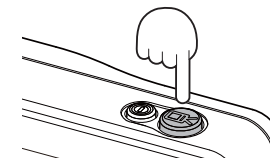
※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。

- 2 ボタンを押して、静止画記録モードにモード変更する

※ 押すたびに、[動画記録モード]→[静止画記録モード]→[再生モード]にモード変更します。

- 3 記録ボタンを押して、静止画を記録する

※ 静止画の解像度は、2592x1944 となります。変更はできません。



記録ファイルを再生する

再生モード画面

再生モードにすると、記録したファイルを本機上で見ることができます。

動画再生画面



静止画再生画面



No.	表示名	説明
①	ファイルアイコン	動画アイコン、または静止画アイコンを表示します。
②	記録映像	記録した動画または静止画を再生します。
③	操作アイコン	操作ボタンの機能を表示します。
	記録日時	記録ファイルに書き込まれた記録日時を表示します。
④	内蔵電池アイコン	内蔵電池の残量を表示します。(☞ 17 ページ)
⑤	ファイル番号	フォルダとファイル番号を表示します。
⑥	ファイル解像度	記録解像度を表示します。(☞ 22 ページ)
⑦	記録日付	映像を記録した日付を表示します。
⑧	記録時刻	映像を記録した時刻を表示します。
⑨	ファイルプロテクトアイコン	上書き禁止されたファイルに表示します。

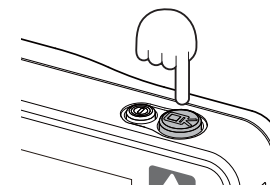
再生モード時のボタンの機能

ボタン	動作	機能
▲ ⊕	ファイル選択時	次のファイルを表示
	ファイル再生時	再生スピードの変更 (x-2, x-4, x-8)
▼ ⊖	ファイル選択時	前のファイルを表示
	ファイル再生時	再生スピードの変更 (x2, x4, x8)
MODE OK	ファイル選択時	モード変更
	ファイル再生時	モード変更
MENU ↩	ファイル選択時	再生設定メニューへ
	ファイル再生時	停止
記録ボタン	ファイル選択時	再生
	ファイル再生時	一時停止

記録ファイルを再生する

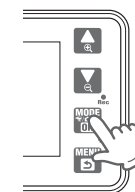
- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、記録ボタンを押して、動画記録を停止する

※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。



- 2 MODE OK ボタンを押して、再生モードにモード変更する

※ 押すたびに、[動画記録モード]→[静止画記録モード]→[再生モード]にモード変更します。



- 3 記録ファイルを選んで、再生する

再生モードの設定メニュー

再生モードの設定を、確認または変更します。



項目	設定	説明
音量	0/1/2/3/4/5/6(★)/7/8	再生音量を設定します。
消去	現在のファイルを削除	記録ファイルを削除します。選択中のファイルか、全てのファイルか選択してください。 ※ 上書き禁止ファイルは消去できません。
	全コマ消去	
フォーマット	SD カード	microSD カードをフォーマット (初期化) します。 (●32 ページ) ※ 上書き禁止ファイルも消去します。

★は初期設定値です。

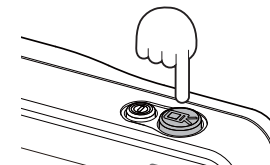
設定操作時のボタンの機能

ボタン	機能
	設定項目を選択したり、値を増加します。
	設定項目を選択したり、値を減少します。
	選択項目を決定します。
	モード画面へ戻ります。

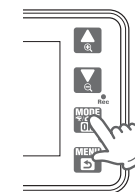
設定メニューへの変更

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、記録ボタンを押して、動画記録を停止する

※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。



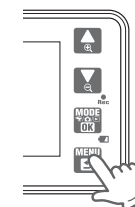
- 2 ボタンを押して、再生モードを選択する



- 3 ボタンを押して、再生モードの設定メニューを表示する




・もう一度 ボタンを押すと、システム設定メニューを表示します。

※ システム設定メニューは動画記録モードで表示されるものと同じです。(●24 ページ)




設定を変更する



microSD カードのフォーマット

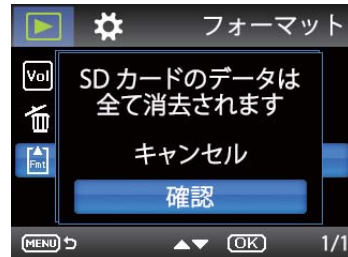
- 1   ボタンを押して [フォーマット] を選択し、 ボタンを押す



- 2 [SD カード] を選択して、 ボタンを押す



- 3  ボタンを押して [確認] を選択し、 ボタンを押す
フォーマットが開始されます。



故障かな？と思ったら

故障かな？

電源が入らない	
●電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。	➡15
●充電されていますか。(本体のみで使用のとき)	➡17
●パソコンへ接続しているときは、本機を操作することはできません。	➡18
映像が記録できない	
●付属品の microSD カードが正しく挿入されていますか。	➡14
●プロテクトされたファイルで microSD カードがいっぱいになっていませんか。	➡21
モニター画面に斑点や輝点がある	
●液晶パネルの現象です、故障ではありません。(有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。)	➡10
動作しなくなったり、誤作動を起こす	
●本体下のリセットボタンを押して、本機を再起動してください。	➡16
●リセットボタンを押しても動作しない場合、microSD カード内の記録映像をバックアップなどしてから、本機で microSD カードをフォーマットし、再度記録を開始してください。	➡32
エンジンを切るとズーム倍率が 1.0 に戻る	
●本機はズーム倍率を保持しません。	—

電源電圧	DC12V (マイナスアース車専用)
消費電力	5W
カメラ素子	カラーCMOS
視野角	対角140°
デジタルズーム	x1.0 ~ x4.0
モニター	2.5インチ フルカラーTFT液晶
画素数	動画：200万画素 静止画：500万画素
画像サイズ	動画：720P (1280 x 720)/1080P (1440 x 1080)/1080P HD (1920 x 1080) 静止画：2592 x 1944
記録媒体	microSDカード(4GB付属)
記録形式	動画：AVI (H.264) 静止画：JPEG
フレームレート	720P：30コマ/秒 1080P：15コマ/秒 1080P HD：10コマ/秒
動作温度範囲	0°C ~ +60°C
外形寸法	85 (W) × 63 (H) × 24 (D) mm (突起部除く)
重量	約90g (microSDカード含む)

● 記録時間の目安

microSD カード容量	720P	1080P	1080P HD
32GB	約 560 分	約 400 分	約 400 分
16GB	約 280 分	約 200 分	約 200 分
8GB	約 140 分	約 100 分	約 100 分
4GB	約 70 分	約 50 分	約 50 分
2GB	約 35 分	約 25 分	約 25 分

- ・上記値は目安で、絶対保障値ではありません。
 - ・被写体や周囲環境などの要因により、記録可能時間と件数は変化します。
 - ・本機は、2GB以上のmicroSDカードまたは、32GB以下のmicroSDHCカードに対応しています。(SDスピードクラス※「Class6」以上)
 - ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。
- ※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居で贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
 保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルで相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036